

---

# プラネタリウム

莓Milk

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

プラネタリアム

### 【Nコード】

N1529H

### 【作者名】

莓Milk

### 【あらすじ】

幼い頃に愛し合った2人、彩音（あやね）と五樹（いつき）は3年後、約束の場所で再会し、付き合うことになる。しかしすれ違いながらも、再び愛し合う2人に大きな壁が立ちはだかる…！！

## 第1話〜約束の日〜

「いつかまた、ここで会おうね？約束だよ。」

3年前にかわした君との

“約束”を果たすために

私は1人あの場所へと急ぐ。3年前と変わらない、大きくてぶかっ  
こうなドアをゆっくりと開けると、あの日の出来事が頭の中を駆け  
巡る。頭上にはたくさん星。その星を作り出すプラネタリウム…。  
私と君の好きだった場所。私は一番最初に目についた、端っこの  
小さな椅子にすわった。

まっくらなホールの上には数えきれない位の星が光っていて、よ  
みがえった記憶が涙になってこぼれ落ちる。無数の星が涙でにじん  
で私の瞳から遠ざかっていった……………。

第1話〜約束の日〜（後書き）

最後まで読んでくださってありがとうございます！この物語が皆様の心に届いていければ幸いです。本当にありがとうございます

by・莓Milk

## 第2話〜再会〜

あれからどのくらい泣いただろうか？天上で光輝いていた星達は、いつの間にか姿を消していた。ほんのり明るいホールの中に残っているのは私だけで、すっかり静まり返っていた。私は立ち上がるうしろの椅子に手をかけると、椅子の背もたれに、水色のタオルがかかっていた。

「誰のだろ……？」

そのタオルを手にとると、どこかでかいだことのあるような、甘く懐かしい匂いがした。なぜか自然と目から大粒の涙がこぼれて、とっさにそのタオルで涙をぬぐった。

「それ…俺のなんだけど……返してくんねえ？」

「あつ…ごめんなさい……えつと……」

思わずもっていたタオルを握り締めると、相手はいきなり驚いた様な声で咳いた。

「…お前…もしかして、彩音……か??」

「……五樹?!……」

清森五樹。3年前、愛し合っていたあの頃に、約束を交わした相手。

私、津原彩音は嬉しい気持ち在必死に押さえて、曖昧な笑顔を作った。

「約束、覚えててくれたんだ……」

「ああ…忘れる訳ねえだろ?覚えてたよ…ちゃんと覚えててくれた……」。

私は少しほつとして、タオルを五樹に渡した。

すると、不意に五樹の温かくて大きな手がくしゃりと私の頭を撫でる。あの頃とおなじ時間が流れてるみたいで、2人から笑顔がこぼれた

「懐かしいね……なんか昔に戻ったみたい……。」「  
私はもう一度五樹と目をあわせて、少しだけ笑った。  
好き。まだ今も好きだよ。約束を交わしたあの日からずっと。だからまだここにいたくて。でももう振り返れなくて。」

『会っただけだよ？新しく好きな人作って2人共幸せにならなきゃいけないんだから。』

そんなもう一つの約束を恨んだ。けれども時計は確実に時間を刻み、きずけば夕方になっていった。

悲しいほどに夕日は赤く、2人の顔を照らしていた。

「……彩音、家にくるか？母さんいねえし……」

「えっ？あつ、うん。行く！いいの？」

会っただけだと約束したのに、分かっているのに、嬉しくて気持ちがおさえられない。私は無意識のうちに五樹の腕に手をかけていた。

プラネタリウムのホールから出ると、すっかり太陽は沈み、星がでていた。隣からのぞく五樹の顔は、3年前を思わせる。

幼すぎて愛せなかった五樹を今は普通に好きで。だけど何も言いたせない自分がいて。暗い夜道の中で何度も話したそうとしているうちに、五樹の家の前にいた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1529h/>

---

プラネタリウム

2010年10月29日01時48分発行